

【参考】「変更・訂正後の借用金額(予定)」「連帯保証人・保証人」欄の訂正方法等について

願(届)出用紙の訂正は、なぞり書きや修正テープ等での訂正はできません。
署名訂正や押印についても、下記を確認し、適切に訂正してください。

■『変更・訂正後の借用金額(予定)』欄の訂正方法について

- ①本人署名横に本人印を押印する
- ②借用金額全体を二重線で削除する
- ③訂正した二重線の上に訂正印を押印する(訂正箇所ごとに各押印が必要)
 - ・人的保証の場合：本人印(本人氏名横同一印)・連帯保証人と保証人の実印
 - ・機関保証の場合：本人印(本人氏名横同一印)
- ④正しい金額(ゼロも含めた全ての桁)を上部余白に記入する

【訂正方法】変更後の借用金額(予定)を誤った場合について

①誤った借用金額に二重線を引きます(1円の単位まですべての数字を抹消してください)

変更後の借用金額(予定) 2215000円 **一部訂正不可**

②二重線の上に、訂正印を押印してください。
人的保証の方の場合、本人印・連帯保証人実印・保証人実印を重ねないように押印。
機関保証の方は本人印のみ。

豆印不可
押印の並びは不問

人的保証
変更後の借用金額(予定) 4800000円
本人 連帯保証人 保証人

機関保証
変更後の借用金額(予定) 2230000円
本人

③正しい金額を訂正した欄の上部余白に、はっきりと記入してください。

人的保証
変更後の借用金額(予定) 4800000円
本人 連帯保証人 保証人

機関保証
変更後の借用金額(予定) 2230000円
本人

ゼロも含めた全ての桁を、はっきりと記入

■『連帯保証人・保証人』欄の訂正方法について

〈例〉署名を訂正する場合

- ①氏名全体に二重線を引く
- ②署名を訂正する者の実印を、
二重線の上に他の印と重ねないように押印
- ③欄内余白に、文字が重ならないよう正しく署名する

支援 次郎
機構 次郎

印
次支 郎 援
次機 郎 構

署名を訂正する場合は、実印を押印し欄内に正しく署名

※欄内の住所、電話番号、生年月日についても同様の方法で訂正が必要です。

※奨学生本人の自署欄は訂正印不要です。

■正しい『押印』の例

重印・二重印・欠け印・にじみ印とならないよう、朱肉を用いて鮮明に押印してください。

太機 郎構	太機 郎構	太機 郎構	太機 郎構	太機 郎構	太機 郎構
鮮明	薄い	重ね印	二重印	欠け印	滲み印
○	×	×	×	×	×

本人印は、朱肉を用いて押印※豆印不可

連帯保証人や保証人は、実印での押印のみ

※印鑑登録証明書に押印されている印